令和7年予算 主な使いみち

重点プロジェクト	（単位：万円）
献上桃の郷産地維持および農家所得向上	3,996
避難所生活環境改善事業	1,980
防災関連機器整備事業	1,169
再生可能エネルギー導入推進	402
こおり健康楽会事業	541
「桑折版ネウボラ」事業推進	3,680
学校教育推進事業	12,356
シティプロモーション戦略推進	1,864
奥州こおり宿楽市楽座in山車フェス事業	1,001
（仮称）歴史観光交流センター整備事業	3,459
活力と賑わいに満ちたまちづくり	
農業の振興（新規就農者および後継者育成・支援事業、有害鳥獣対策事業 など）	10,161
商工業の振興（商店街活性化支援、事業者経営支援 など）	6,071
土地利用の推進（緑地公園維持管理事業、都市計画図更新事業 など）	2,385
危機管理に備えた安全安心のまちづくり	
消防・防災の強化（伊達地方消防組合運営負担金、町消防団運営費 など）	28,649
生活安全対策の推進（防犯灯整備・維持管理事業、交通安全対策事業 など）	901
暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり	
道路・交通ネットワークの整備（町道・水路維持管理事業、町道新設改良事業）	27,484
居住環境の充実（安全・安心な住環境づくり事業、給水設備整備事業 など）	3,517
環境共生の推進（かわまちづくり事業、環境保全推進事業）	621
森林環境の保全（森林環境保全事業、森林環境交付金事業）	2,909
環境衛生の充実（伊達地方衛生処理組合負担金、一般廃棄物収集運搬業務委託）	12,488

健康長寿で元気なまちづくり	
健康づくりと医療の推進（生活習慣病重症化予防事業、各種保健事業、保健福祉センター長寿命化）	13,396
地域福祉と障がい者福祉の推進（社会福祉協議会事業補助金交付事業、障がい者福祉事業）	35,913
高齢者福祉の推進（敬老の日記念事業、「献上桃の郷」おでかけパス利用助成事業 など）	1,866
生涯学習の推進（生涯学習推進事業、社会教育施設管理運営）	5,146
生涯スポーツの推進（生涯スポーツ推進事業、社会体育施設管理運営）	9,231
子どもを大切にするまちづくり	
子育て支援の充実（こども医療費助成事業、妊婦一般健康診査・新生児聴覚検査 など）	5,656
乳幼児保育と教育の充実（認定こども園運営支援事業、幼稚園預かり保育運営事業 など）	33,814
学校教育の推進（一人一人を大切にする温かい教育推進、学力向上対策事業 など）	10,938
交流で絆を育むまちづくり	
シティプロモーションの推進（観光交流情報発信事業、観光地周遊デジタルスタンプラリー事業 など）	256
歴史まちづくりの推進（歴史案内人の育成と体制の充実、半田銀山の歴史漫画製作事業 など）	462
計画の推進に向けて	
健全で持続可能な財政運営（ふるさと納税受付業務及び返礼品発送等事業）	6,365
行政機能の充実強化（住民票などコンビニ交付サービス、デジタルデバイド対策事業）	284
誰もが参加できるまちづくりの推進（町内会・住民自治活動の活性化 など）	543
広報・広聴の充実（広報紙などによる情報発信業務）	1,279

令和8年度 一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は66億7,410万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、67億9,568万円となりました。

■予算補正の主なもの

（仮称）歴史観光交流センターデジタル情報発信強化事業	5,535万円	福祉施設等エネルギー等価格高騰対策支援金	494万円
農業災害対策事業（果樹特別対策）	2,600万円	財産区記念碑設置工事	150万円

令和7年度町財政の「健全化判断比率」「資金不足比率」「経常収支比率」

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、**財政の健全性が保たれている**状況です。

財政健全化法に基づく指標には、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率、将来負担率は基準値内であり、公営企業（水道・下水道事業）会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、過去に借りた地方債の償還終了などにより、地方債残高が減少し、0.8ポイント低下。将来負担比率は、町債償還の着実な進展による借入金残高の減少などにより算定されませんでした。

（単位：%）

区分		5年度	6年度	7年度
健全化判断比率	実質赤字比率（15.0）	－	－	－
	連結実質赤字比率（20.0）	－	－	－
	実質公債費比率（25.0）	9.4	8.8	8.0
	将来負担比率（350.0）	－	－	－
資金不足比率（20.0）	水道事業会計	－	－	－
	下水道事業会計	－	－	－
経常収支比率		89.4	88.5	88.0

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額がないため「－」と記載しています。将来負担比率は、マイナスとなり負担が発生していないため「－」と記載しています。資金不足比率は、資金不足がないため「－」と記載しています。
（　）内は、早期健全化基準であり、これを超えた場合は、財政健全化団体（黄色信号）として自主的・計画的な改善が義務付けられています。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金（借金の返済）の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

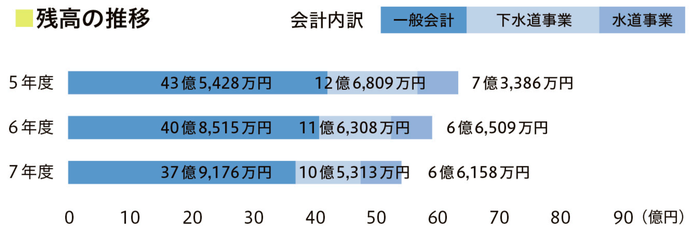
経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。令和7年度県市町村平均は90.7%。

※1　標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途の特定がない財源）の規模［桑折町はおおむね39億円程度］

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。

■残高の推移



■令和7年度末　町債などの残高

会計区分		6年度末残高（A）	7年度借入額（B）	7年度償環元金（C）	7年度末残高（A）＋（B）－（C）
町債	一般会計	40億8,515万円	1億2,010万円	4億1,349万円	37億9,176万円
企業債	水道事業会計	6億6,509万円	6,650万円	7,001万円	6億6,158万円
	下水道事業会計	11億6,309万円	2,590万円	1億3,586万円	10億5,313万円